

認知症の「なぜ」が「なるほど」へ

～あなたの温かい気持ちで
助かる命があります～



発行 横須賀市民生局福祉こども部福祉総務課
電話 046-822-9804

2024年12月発行

家族が認知症でお困りの方、
家族が、お出かけになったまま
帰れなくなりそうで不安なときは？



地域包括支援センターにご相談ください。

地域包括支援センターは横須賀市内に12カ所あり、地域に密着した支援を行っています。保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーといった福祉専門職が配置されており、成年後見制度、高齢者虐待、介護サービス利用手続の相談窓口となっています。お気軽にご相談ください。
ほっとかん(地域福祉課総合相談担当)でもご相談を受け付けています。

**認知症によりお出かけのまま家に帰れなくなった方の情報を
市役所ホームページ、LINE、X(旧twitter)でお届けします！**

認知症でお困りの方が一刻も早くご自宅に帰ることができるように、認知症サポーターや協力団体・企業、協力者様等に情報発信をしています。より多くの方がLINEに登録していることが効果的です。LINEの登録にご協力をお願いいたします。

まずは、横須賀市公式LINEを友だち追加！



友だち追加はこちら

検索用IDからも追加できます
@yokosuka_official



「欲しい情報を選ぶ」から受信設定をします
受信設定で「高齢・介護」を選択してください

認知症は「脳の病気」が原因の状態像で誰もがなり得るものです。完璧な予防法も根本的な治療法も存在しません。ただし、周囲の関わり方によってその状態像は大きく変わり得ます。

認知症の人が、なぜひとり歩きをするのか、その理由と対応のポイントについてまとめました。理由を知ることによって対応にゆとりが生まれ、そのゆとりが認知症にやさしい街を創ります。

身近な家族や友人、自分自身が認知症になっても今までどおり住み慣れた地域で、安心して暮らせるよう、認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を温かく見守り、支援していただけたら幸いです。

困っている人に声をかけようと思ったときは

1. 不意に声をかけない
2. 背後から声をかけて相手を驚かせたり、急かしたりして混乱させない
3. 本人の意思や自尊心を尊重する
接し方を心がける

(出典)認知症サポーター養成講座標準教材
認知症を学び みんなで考える

【具体的な対応の7つのポイント】

1. まず見守る
2. 余裕をもって対応する
3. 声をかけるときは一人で
4. 背後から声をかけない
5. やさしい口調で
6. おだやかに、はっきりした口調で
7. 会話は本人のペースに合わせて

認知症とは

認知症の主な症状

- もの忘れ：体験した出来事などの記憶が抜け落ちてしまう
- 失行：物事が上手くこなせない
- 失認：物を正しく認識できない
- 失見当識：時間や季節、今いる場所、人物が分からなくなる
- 実行機能の低下：作業手順が思い出せない、覚えられない
- 理解・判断力の低下：共通点や違い、良し悪しが分からなくなる。物事の理解に時間がかかる。
- 失算：計算ができない
- 失語：思いが上手く表現できない



周囲の困惑や不適切な対応で
プライドが傷つけられ、
疎外感や不安が生じると・・・

行動・心理症状の出現

- ・不安やうつ
- ・いらいらと興奮
- ・幻覚・妄想
- ・歩き回る・道に迷う



みんな私を
責めてくる！

何でそんなことするんだ！
何度もいわせるな！

※横須賀市では、認知症の人が、行先に迷って自力では解決できない状態のことを、ひとり歩きと呼びます。

認知症のひとり歩きはなぜおこる？

■認知症とひとり歩き

認知症になると、まず最初に物事が覚えられなくなります(もの忘れ)。また、現在の状況、たとえば自分のいる場所や時間がはっきりしなくなります(失見当識)。その他、適切な判断ができないため、迷っても人に聞くことができなくなります(理解・判断力の低下)。

■ひとり歩きをするわけ

ひとり歩きには理由があります。目的を持って歩き始めたが、行き先を思い出せなくなる。また、自分の居場所が分からなくなって歩き回るなどが考えられます。

具体的には

- ・財布を探していたが、探していることを忘れて歩く。
- ・トイレに行こうとしたが、トイレの場所がわからず歩く。
- ・定年退職した会社に出勤するために外出する。
- ・引っ越しの後の新しい家の環境になじめず、前の家に帰ろうと歩く。



ひとり歩きの人の特徴は？

■不自然

- ・きょうきょうと同じところを何度も歩いている。
- ・寒いのに薄着など季節感のない服装。
- ・身なりが整っていない。
- ・夜中や早朝の時間帯にパジャマやスリッパで歩いている。

■危うい

- ・車道を歩いていたたり、道路を横切ろうとする。
- ・声をかけてもわき目もふらず歩いている。



もしも家族が行方不明になったら

■まずは警察に連絡しましょう！

- ・早く見つけるためには、早めの連絡が大切です。
- ・写真を持参すると捜索の手助けになります。



■にこっとSOS事前登録制度を活用しましょう。

- ・認知症があり、お出かけのまま戻れなくなるおそれがある人の情報を、事前に登録する制度です。
- ・GPS機器を用いた位置情報検索システムの導入費などの助成もあります。(要申請・条件有)

地域福祉課総合相談担当(電話:046-822-9613)



■備えましょう！

- ・衣服、靴など持ち物の見えないところに名前を書いておく。
- ・名前、連絡先付きネックレスの装着やQRコードを貼っておく。
- ・最近の写真を撮っておく。

